

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県立ふれあいの家	指定管理者	社会福祉法人 山形県身体障害者福祉協会
所在地	山形市長町二丁目10-20	県担当課	健康福祉部障がい福祉課
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	(電話番号)	(023-630-2293)
検証期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		
検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	管理運営の面では、概ね計画に沿った施設運営を行っているが、各種活動や行事については感染症等の状況に応じて段階的な再開としている。利用者支援に関しては、自主性を尊重しつつ、安全面や健康管理・衛生管理の面に力を入れ支援を行っている。設備面においては、予定していた検査や点検を実施し、安全に業務運営が出来るようにしている。	評価	B <<評価の理由>> 協定書に基づき、概ね適正に履行されている。利用者が安心安全に生活を送ることができるよう、健康管理・衛生管理等が徹底された管理運営がなされている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	継続して設備の不具合についての要望を出している。利用者支援においては、高齢化と身体状況の変化により他施設への移行を考えなければならない方が多くなってきているものの、制度の違いからシームレスにならない状況にある。また、最低賃金の著しい引き上げに伴い人件費比率が増大しており、今後への不安が大きい。	評価	B <<課題等の原因分析>> 施設について、設立から期間が経過していることから経年による劣化がみられる箇所がある。利用者の他施設への移行については、利用者本人に移行の必要性等を理解してもらう必要があるほか、受け入れ先の確保が難しいことなども進まない要因となっている。
課題、問題点への今後の対応	施設・設備等については、優先順位を考慮しつつ、計画的に修繕を実施していく。また、利用者がふれあいの家から次の生活へスムーズに移行するためにも、利用者本人に必要性を丁寧に説明して理解を求めるとともに、関係機関等と連携し、適切な移行先につなげることが出来る体制を整えてほしい。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	個別に相談を受けられるよう配慮しながら、個々に必要な支援が提供できるよう、職員間で情報共有の場を適宜設けている。また、一方的な支援にならないよう、出来ることは自ら行うよう促し、自立心の確立や達成感の醸成に努めている。利用者自治会の活動を尊重しつつ、活動の充実に向けて可能な限り協力している。また、投書箱の設置やアンケート調査を実施することで、利用者ニーズの抽出を図っている。	評価	B <<評価の理由>> アンケート調査や自治会からの意見聴取等により利用者の要望やニーズの把握に努め、利用者からの要望等にも、その都度丁寧に対応している。また、個人ごとのニーズを大切にしつつ、利用者の主体性を尊重したサービス提供を行っている。
意見・要望等への今後の対応	今後も継続して利用者の意見・要望の把握を行い、サービスの向上につなげていってほしい。		
3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	バックアップ施設からの情報提供を受けながら、健康面や衛生面、安全面に特に配慮しながら利用者支援を行った。また、法人で行う研修へ参加、職員の質的向上を図っている。買い物支援及び移動販売車「とくし丸」の定期巡回(1回/週)の導入により、利用者の主体的な経済活動への参加を促進している。プリンターや鉢植え等の屋内外への設置など、利用者の過ごしやすい環境整備に努めている。	評価	A <<評価の理由>> 指定管理者の運営施設をバックアップ施設とし、食事の内容や健康管理、職員の資質向上等の面において連携しながら、効果的な事業実施に努めている。また、移動販売車の導入等により入居者の経済活動への参加に寄与している。
② 経費の節減	通年を通して、使用していない場所の消灯や夏場におけるグリーンカーテンの設置、エアコン・ヒーターの温度管理など可能な限り節電を実施。また、ボイラーについては、使用する時間帯のみ運転する等、燃料の節約に努めている。害虫駆除、剪定、草刈、芝の手入れ、館内のワックス掛け、除雪などは外部委託することなく、職員が連携して実施することで経費の節減を図っている。	評価	B <<評価の理由>> 節約による光熱水費の節減のほか、グリーンカーテンの活用や職員自身で環境整備を行うことなどにより積極的に経費の削減に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	施設内でのカルチャー教室等の実施については、感染リスク及び利用者の意見を考慮の上、外部の方を招くことや会場の提供を控えている。地域の生活道路を積極的に除雪し、地域住民の便宜を図っている。また、地域行事等を利用者に告知し参加を働きかけたり、地域の商店等も積極的に活用している。職員採用においては、地域からの募集を積極的に進め、数名を継続雇用している。	評価	B <<評価の理由>> 職員雇用において、地域からの募集を積極的に行い、雇用に繋げている。また、利用者への地域でのイベント等についての周知や地域の商店の活用など、地域に根差した施設になるよう努めている。
総合的な評価	管理運営及び財務管理について、協定書に基づき概ね適正に履行されている。また、利用者一人ひとりのニーズを大切にしつつ、自立した生活を尊重したサービス提供に努めており、利用者に寄り添った施設運営を行っている。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。